



# 苦難を乗り越え作品を書き続けた作家 三浦 綾子

## 【指導事例 1】

1 主 題 「粘り強く努力することの大切さ」〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 ねらい

様々な困難があってもくじけず、粘り強く取り組もうとする態度を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、様々な困難と向き合いながら小説の執筆活動に取り組んだ三浦綾子の功績に触れることを通して、様々な困難があってもくじけず、粘り強く取り組もうとする態度を育むことをねらいとしています。

前半では、教師を辞める決断に至った経緯や大きな病気にかかりながらも懸命に療養生活に努める三浦綾子の姿が示されています。

後半では、小説を書くことを決断し、「自分には最後までできるのだろうか」という不安や仕事を終えた後に執筆活動をするという体力的な問題、寒さとの戦い等の困難に負けずに最後まで粘り強く取り組む三浦綾子の姿が示されています。

指導に当たっては、自分の生まれ育った地域から、日本を代表する作家になるまでの努力の様子を理解するとともに、困難に負けず努力しようとする生き方について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「綾子が苦難を乗り越えて努力し、やり遂げる姿を通して、粘り強く取り組むよさや大切さについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の目標や取組について発表する。</li> <li>○ 最後まで取り組もうと思い、やり遂げたことや今も続けていることは何ですか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習を毎日続けている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材「苦難を乗り越え作品を書き続けた作家」を読み、話し合う。</li> <li>○ 三浦綾子にとっての苦難とはどのようなことでしょうか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後までやり切ることができるのかということ。</li> <li>・執筆時間を確保すること。</li> </ul> </li> <li>○ 「小説を書くのは、素人にはまず無理だ。」という記事を見たとき、綾子はどのようなことを考えたでしょうか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・私には無理かもしれない。</li> <li>・やってみたい。</li> </ul> </li> <li>◎ 苦難を乗り越えて、やり抜いた三浦綾子の夫が言う「希望をもって生きることの意味」とは、どのような意味でしょうか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・成功を信じて取り組み続ける。</li> <li>・勇気をもって、苦難に立ち向かう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く取り組めなくなるようなときの困難な様子について話し合い、人間理解を深めることができるようにする。</li> <li>・登場人物の心の葛藤について考える場を設ける。</li> <li>・苦しい中でも取り組み続けた登場人物の気持ちを想像する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 困難を乗り越えて、やり遂げたことはありますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・習い事のピアノで、難しい曲を演奏できるようになったこと。</li> <li>・体育の授業で、できなかった技ができるようになったこと。</li> </ul> </li> <li>○ 困難を乗り越えるために、支えとなっているものは何ですか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・あきらめない強い気持ち。</li> <li>・友だちや家族からの励まし。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活や生き方を振り返り、自己の理解につなげる。</li> <li>・困難に負けずに粘り強く取り組むよさや大切さについて自分との関わりの中で考えるよう促す。</li> <li>■ 苦難に負けずに粘り強く取り組むことや、困難に負けずに努力する大切さについて、自分との関わりで考えている。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師の説話を聞く。</li> <li>※教師が小学校時代、困難を乗り越えた話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗してもあきらめない態度が育まれるようにする。</li> </ul>

## 【指導事例 2】

1 主 題 「粘り強く努力することの大切さ」〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 ねらい

様々な困難があってもくじけず、粘り強く取り組もうとする心情を育てる。

3 展開例—②「三浦綾子が日本を代表する作家になるまでの努力の様子を通して、困難に負けず努力しようとすることについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) 三浦綾子にとっての苦難とは、どのようなことでしょうか。

- ・最後までやり切ることができるのかということ。
- ・素人には長編の小説を書くことはできないと思い、自信を失うこと。
- ・執筆時間を確保すること。

(2) 一位入選したときに、三浦綾子はどのようなことを思ったでしょうか。

- ・努力する心は大切だということ。
- ・成功を信じて取り組み続けることは大切だということ。
- ・支えてくれる家族のために続けることは大切だということ。

(3) 困難を乗り越えるために、支えとなっているものは何ですか。

- ・あきらめない気持ち。
- ・友だちからの励まし。
- ・家族の支え。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

### ■ 国語科

日常の読書活動において、本教材を活用した学習を基に、三浦綾子の複数の作品を比べて読むことなどを通して、国語科の授業で詩や物語、伝記などを扱い、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりすることができるようにする。

### ■ 社会科

身近な地域の歴史や特産物、伝統工芸等を調べる活動において、三浦綾子記念文学館など、旭川市にある博物館や資料館、文学館などの施設を活用することを通して、児童が興味・関心をもって学習に取り組み、社会的事象の特色や意味などを考えることができるようにする。

### ■ 特別活動（学級活動）

一人一人のキャリア形成と自己実現に関する指導において、本教材を活用することを通して、よりよい学級や学校の生活と人間関係を築くために、集団の一員としてできることについての考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

### ■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝え、保護者の道徳の授業への関心を高めたり、地域にある施設への訪問する学習において、事前に本教材を活用して、三浦綾子の文学作品や生涯について紹介し、児童の学習意欲を喚起したりする。